

平成25年度当初予算案等における主要関連項目

平成 25 年 2 月 20 日

薩 摩 川 内 市

(注)記載項目は、あくまでも当局案であり、3月定例議会での審議状況によって変更される可能性があることに留意。

1. 基本的考え方

(1) 行動計画を踏まえた取り組み

- (ア)行動計画中の基本的考え方を踏まえた取り組み
- (イ)設定テーマを踏まえた特定地域における実証事業を中心とした取り組み
- (ウ)本市としての優先分野(例:観光分野)と相乗効果を狙った取り組み
- (エ)市民の意識向上や交流人口増加につながる取り組み

(2) 岩切市長の将来ビジョンを踏まえた取り組み

- (ア)次世代エネルギーの導入促進に関する取り組み
- (イ)次世代エネルギーの産業利用に関する取り組み

(3) 国の政策を見据えた取り組み

- (ア)「日本再生戦略」や今後、日本経済再生本部が策定予定の成長戦略を踏まえた取り組み
- (イ)今年度補正予算や来年度予算概算要求中の支援措置を念頭に置いた取り組み

(4) その他

- (ア)地域での対話の過程で得られたニーズを踏まえた取り組み
- (イ)一定の経済性が確保できる取り組み(国の予算確保も念頭)

2. 主要要求項目(カッコ内は要求額(単位:千円))

(1) 川内港シャトルバス等購入事業(テーマ8関連)【103,000 千円(新規)】

平成26年春に高速船が川内港に就航することに伴い、川内駅と川内港との間にシャトルバスを運行するための電気バス等を導入。

(2) スマートハウス(モデル)実証事業(テーマ3関連)【45,000 千円(新規)】

市内中心部に、太陽光発電設備、燃料電池、HEMS等を備えた住宅を建設、市内外からの見学者に開放し、意識啓発・導入促進を図る。

(3) 総合運動公園防災機能強化事業太陽光発電設備等リース料(テーマ5関連)【40,000 千円(新規)】

再生可能エネルギー等の独立電源等を活用した、防災拠点を整備。整備に当っては、20年間のリース事業として実施。

(4) 地球にやさしい環境整備事業補助金(テーマ3、9関連)

【48,200 千円(24 年度当初:30,000 千円)】

住宅太陽光発電設備や電気自動車等に加え、燃料電池や電気自動車用充電設備も対象とする。

(5) 甌島電気自動車レンタカー導入実証事業(テーマ8関連)【16,523 千円(新規)】

利用者より走行ルートや距離、電気自動車乗車の感想等に関する情報を収集し、エコアイランド化に向けた検討の一助とする。なお、電気自動車は本市公用車として活用。

(6) 川内駅ゼロエミステーション化検討事業(テーマ8関連)【15,000 千円(新規)】

平成26年5月開業100周年等を見据え、本市のランドマークとして、CO2 排出量を可能な限り抑える駅舎の整備等につき調査・検討を行う。

(7) セミナー及びシンポジウム(テーマ4関連)【2,800 千円(新規)】

市民を対象に、本市の具体的取り組みの紹介や有識者の講演を行うとともに、関連企業の製品展示等を行い、施策の普及啓発を図る。

3. 関連産業育成等に関する項目(テーマ6関連)

来年度より、企業活動の各局面(起業～成長～成熟)に応じた支援を行うため、3月定例議会に企業立地支援条例案を提出。これに関し、以下の補助制度を創出・拡充。

(1) 新産業創造事業補助金(拡充)

補助対象に「次世代エネルギー」を追加。当該分野における産業創出、転業等に関する経費を補助。産業創出は1/3、転業は2/3。(補助上限額:400 万円)

(2) 次世代エネルギー事業推進補助金(新規)

次世代エネルギー発電設備を設置したことにより増加した土地、建物の固定資産税相当分を補助金として交付(補助上限額:100 万円)

(3) 地域成長戦略促進補助金(拡充)

対象業種に「次世代エネルギー関連施設」を追加。これに該当する場合は、雇用創出補助金を従来の一人当たり50万円から100万円に引き上げ(補助上限額:10 億円)。

4. その他事例

(1) 太陽光発電設備導入に向けた公共施設の屋根貸し制度(テーマ9関連)

以上